

防災 QUIZ

火災編



役立つ防災・防災の知識をクイズで紹介。
いつもの備えを、もしもの時の安心につなげよう。

Q 地震の後、あなたの家や周囲の家が出火してしまった場合、119番に通報すると同時に、とるべき行動は次のうちどれ？

①

身の安全を最優先にし、周囲に火災を知らせ避難する



②

消火活動を行うが、炎が天井に届くなど、身の危険を感じたら逃げることを優先する



③

なるべく窓や扉を閉めて避難する



この面の一番下で答えを確認しよう！

問 防災課 (☎5723-8700、FAX 5723-8725)

サークル紹介

目黒篆刻(てんこく)研究会

時 毎月2回18:30~20:30 場 中央町さくらプラザ
¥ 入会金なし、会費6カ月7,500円 問 ☎090-6498-3424

ルビーダンスサークル(社交ダンス)

時 毎週(木)15:30~17:00 場 鷹番住区センター
¥ 入会金なし、会費1回1,500円 問 ☎090-5501-8120

「嵯峨野」目黒俳句会

時 毎月第2(土)13:00~17:00 場 田道住区センター三田分室
¥ 入会金なし、会費1回1,000円 問 ☎3468-1791

主に区内公共施設で活動している趣味のサークルで、営利性・政治性・宗教性のないものを紹介しています。入会・申し込みなどは当事者間で。区は関与しません。

現在、申し込み多数で掲載まで約1年お待ちいただくため、恐れ入りますが3月31日で一度受け付けを締め切らせていただきます。再開時期などは、令和8年8月以降の区報でお知らせします。

問 広報広聴課 (☎5722-9486、FAX 5722-8674)

掲載依頼方法は
こちら >>>



ボランティア募集

日本語学習のお手伝い(にほんごの会どんぐり)

外国人会員の皆さんと日本語で会話をする会です。語学のみでなく、日本での生活に必要な情報を得ることのお手伝いとともに、双方の国の生活スタイルを知りあい、生活習慣になじめるようアットホームな支援をしています。資格や経験がなくても大丈夫です。



時 毎週(火)18:50~20:45 場 総合庁舎地下会議室

問 めぐるボランティア・
区民活動センター
(☎3714-2534、FAX 3714-2530)

他にも募集しているボ
ランティアがあります。
詳細はこちら >>>



お知らせ

3月10日は「東京都平和の日」です



都は、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓い、3月10日を「東京都平和の日」と定めています。

3月10日(火)14:00

黙とうのお願い

東京大空襲をはじめ、戦災で亡くなられたかたに哀悼の意を表するとともに、世界の恒久平和を願い、1分間の黙とうをささげようお願いします。

東京都平和の日記念式典

式典の様子を、区Webからご覧になれます。

東京大空襲写真・資料展

時 2月28日(土)8:30~3月15日(日)17:00

場 西口ロビー(総合庁舎本館1階)

内 狩野光男氏の東京大空襲パネル、石川光陽氏の記録写真、都からの貸し出し資料など

平和の大切さを身近に感じてみませんか

区内には、平和を願って設置された記念碑などがあります。ぜひお立ち寄りください。

主なもの

めぐろ平和の鐘、平和の壁画(区民センター公園内)、平和の石(中目黒しぜんとなかよし公園内)



▲平和の壁画

問 総務課総務係 (☎5722-9205、FAX 5722-9409)

Megu's Diary

めぐの日記

区内在住のインテリアコーディネーター「めぐ」がおすすめるスポットを日記につづっています。

no.52:

「黒目川」沿いの桜並木 (埼玉県朝霞市)



埼玉県朝霞市には、市内をほぼ

東西に流れる目黒川ならぬ「黒目川」があるみたい!

春には桜が咲き誇り、同時に、菜の花も咲いて、黄色とピンクのコントラストがとっても華やかならって。目黒川とはまた違った魅力が楽しめそう。今年は埼玉まで、黒目川の桜も見に行こうっ!

「黒目川」沿いの桜並木

黒目川は東京都から埼玉県にかけて流れる一級河川。埼玉県朝霞市を流れる黒目川沿いの遊歩道は、毎年3月末から4月初めにかけて、全長700mに渡って植えられたソメイヨシノが咲き誇る。

3月28日(土)・29日(日)に「黒目川花まつり」が開催予定で、屋台が並ぶほか、カヌー体験やダンスパフォーマンスなどが楽しめる。

問 広報広聴課 (☎5722-9486、FAX 5722-8674)

これまで訪れたおすすめスポットは「おでかけマップ」から >>>



防災 QUIZ

正解は ▶▶▶

全て。自身の状況によっては、消火活動をせずに避難する選択肢もありますが、その場合は周囲に、出火していることを伝え、協力してもらうことも重要です。消火活動では身の安全が第一です。炎が天井に届くなど、危険を感じる状況では速やかに避難しましょう。また、避難するときは、出入り口の扉を閉め、酸素の供給を減らすことで、延焼速度を遅らせることができます。